

2026 年 9 月 9 日

研究に関する情報公開文書

研究対象者の皆様へ

日本福祉大学では、2015 年頃に中京大学で取得された曲走路加速疾走に関するデータを再分析する研究を行います。今回の研究では、新たな撮影、測定、介入または研究対象者への接触は行いません。研究の内容と、研究 I のデータ利用を望まない場合の手続を以下のとおりお知らせします。

1. 研究課題名

「曲走路疾走における加速局面の特徴—既存の三次元動作および歩別時間データの再分析—」

2. 研究機関、研究責任者および研究協力者

研究機関：日本福祉大学

研究責任者：石村 和博（日本福祉大学 スポーツ科学部 講師）

研究協力者：豊嶋 陵司（愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 准教授）

3. 研究の目的と意義

陸上競技の曲走路では求心方向への力発揮が必要となるため、直走路とは異なる動作や左右脚の役割が生じます。本研究では、取得済みの競技会映像および三次元動作データを再分析し、曲走路の加速局面における内外脚の差がいつ、どのように現れるかを明らかにします。得られた知見は、曲走路の加速技術や指導・トレーニング方法を検討するための基礎資料となります。

4. 研究対象者、利用する情報および研究方法

研究 I 公認陸上競技会の映像データ

対象者：同一の公認陸上競技会で 100 m 走および 200 m 走の両種目に出場した男女短距離競技者 58 名です。このうち、両種目の撮影周波数が同一で、スタート後 1～19 歩目まで分析可能な 32 名を主な解析対象とします。

対象競技会：梅村学園競技会（開催年月日：2015 年 4 月 5 日-6 日）

利用する情報：氏名（大会プログラムから取得）、競技記録、高速度映像（240 Hz または 300 Hz）、撮影周波数、歩別の接地時間、滞空時間およびピッチ、ならびにこれらから作成する解析データです。

研究方法：100 m 走と 200 m 走のスタート後の歩別時間を比較し、200 m 走の曲走路に特有な内外脚

の差が現れる時点を統計的に検討します。

研究Ⅱ 曲走路疾走の三次元動作データ

対象者：データ取得時に中京大学陸上競技部等に所属していた男子大学短距離競技者 8 名（当時 18～21 歳）です。

利用する情報：氏名、年齢、性別、身長、体重、競技歴、自己記録、曲走路疾走時の三次元座標データ（250 Hz、反射マーカー41 点）、ならびに座標から算出する身体重心、疾走速度、下肢関節角度・角速度、歩幅、ピッチ等です。

研究方法：曲走路での最大努力疾走について、加速局面における内外脚の動作特性と歩ごとの推移を検討します。

いずれの研究についても、新たな募集、撮影、測定、介入または研究対象者への接触は行いません。

5. 研究期間および情報公開期間

研究期間は、日本福祉大学における倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日までです。本公開文書は、倫理審査承認後から研究終了日まで日本福祉大学ウェブサイトのオプトアウトに関するページへ掲載します。

6. 研究対象者に生じる負担、予測されるリスクおよび利益

既存データの再分析のみであるため、研究対象者に新たな身体的・心理的負担は生じません。個人情報の漏えいが主な潜在的リスクですが、研究用識別番号への置換、対応表との分離、暗号化した記憶媒体での保管等により防止します。研究対象者に直接の利益はありませんが、曲走路疾走の技術理解と指導・トレーニング方法の発展に寄与する可能性があります。

7. 同意の取扱いとデータ利用を拒否する方法

研究Ⅰ

競技会出場者の連絡先を研究者が保有しておらず、実際の競技会におけるレース動作を包括的に観察するという研究の性質上、事前に全対象者から個別同意を取得することは実務上困難でした。このため、大会主催者の許可を得て撮影した既存データについて、本公開文書により研究内容をお知らせし、データ利用を拒否できる機会を保障します。

利用を望まない場合は、末尾の研究責任者へ電子メールまたは書面でお申し出ください。ご本人であることと該当データを確認するため、氏名、出場した競技会および種目等をお尋ねします。対応表により該当データを特定でき、かつ集計および研究成果の公表前である場合は、当該データの利用

を中止し、解析対象から除外した上で廃棄します。データ利用を拒否したことによる不利益はありません。

対応表の廃棄後、または集計・研究成果の公表後で、個人データを特定して除外できない場合は、ご希望に沿えないことがあります。その場合は理由を説明します。

研究Ⅱ

データ取得時に研究目的、方法、データの取扱い、成果公表および参加撤回等を説明し、本人から文書同意を取得しています。データ取得時に未成年であった方については、旧承認計画に基づき本人および親権者から文書同意を取得しています。今回の再分析は、当時説明した研究目的と相当の関連性を有する範囲で実施します。ご質問やご相談がある場合は、研究責任者へご連絡ください。

8. 個人情報の保護と研究成果の公表

研究責任者が氏名等を研究用識別番号に置き換え、対応表と解析用データを分離して管理します。解析用データには氏名を含めません。個人別データを他の研究機関へ提供することはありません。研究成果は、日本福祉大学スポーツ科学論集、体育・スポーツ科学、陸上競技またはバイオメカニクスに関する学会・学術誌等で、集団の集計値として公表します。氏名、映像その他個人を識別できる情報は公表しません。

9. 情報の保管と廃棄

対応表、元映像および三次元座標データ等は、日本福祉大学研究本館 508 石村研究室内で、暗号化した外部記憶媒体に保管します。対応表は解析用データと分離して管理します。保管期間は、研究終了報告後 5 年、または研究結果の最終公表について報告した日から 3 年を経過した日の、いずれか遅い日までです。保管期間終了後、電子データは復元できない方法で消去し、紙媒体は裁断処理します。

10. 研究資金と利益相反

今回の再分析には特別な研究費を必要としません。データの取得は平成 26 年度科学研究費助成事業により実施しました。本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

11. 倫理審査

既存データは、中京大学大学院体育学研究科倫理審査委員会の承認（承認番号 2014-17）の下で取得されました。本研究は、日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認を得て実施します。

本学承認番号：26-041-01

本学承認日：2026 年 9 月 8 日

12. 問い合わせ、データ利用拒否の申し出および倫理上の相談窓口

研究責任者：日本福祉大学 スポーツ科学部 講師 石村 和博

住所：〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田字会下前 35-6

電話：0569-87-2211（大学代表）

電子メール：ishimura-k@n-fukushi.ac.jp

倫理上の相談窓口：日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会相談窓口

電子メール：rinri-soudan@ml.n-fukushi.ac.jp

以上